



寒も厳しく、踏み割る霜のなかで厳然と花開く水仙。細長く上に伸びる緑の葉は、厳寒にも負けない激しい命のあかしともいうべきか。水仙の花は、春闘への心がまえのモチ方を教えている。

二月の暦

- 14日 バレンタインデー。政策の貫徹めざす。
- 15日 全国狩猟禁止。
- 16日 日蓮上人誕生会。
- 20日 第一回普通選挙実施(一九二八年大正三年)。
- 21日 石炭政策閣議と春闘方針の確立をめざす炭労臨時大会(二十二日まで)。
- 23日 炭労、中央行動展開(石炭カゼの一般療法—第一目に)
- 28日 火災予防デー。
- 3日 節分。旧七草。
- 4日 立春。
- 11日 建国記念日。
- 12日 特定休日(ただし三池炭鉱だけ)。
- 定年退職予定者会議。

記念文集にご協力を

三池主婦会二十五周年を語ろう

主婦会事務局からお願い

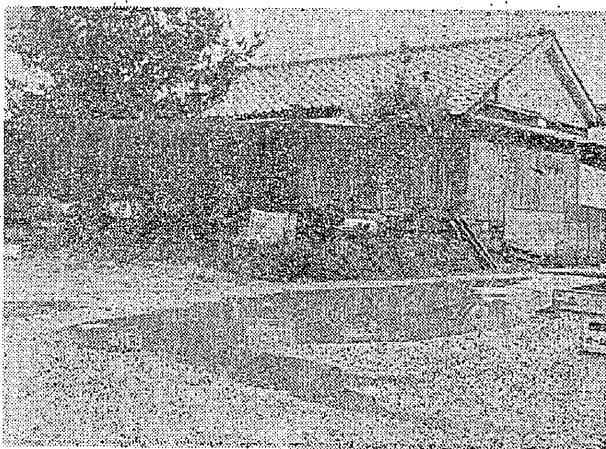
主婦会を結成してから二十五周年を迎えますが、この期に主婦会運動の歴史にまなびつつ、今から先の運動の糧とするには大きな意義があります。

すでに主婦会しんぶんや各分會での会議の中でお知らせとお願ひをしていますが、主婦会では結成二十五周年記念文集の作成にとりかかっています。編集委員は、主婦会しんぶん編集委員六人と執行部七名です。

私たちは、三井独立資本の首切り合理化や労働強化の攻撃をはね返し、夫々息子の生命を守り生活を向上させるため、そのささえとなり、自ら主婦会運動をつづけてきました。結成時の苦闘や三井闘争での主婦会活動、なかでも、とうてい忘れられないことなから、今日COO裁判闘争へと運動のこととして、三井鉱山の生産第一主義、保安サボによって引き起こされ、四百五十八人の仲間を殺し、八百三十余人の命を傷つけた昭和三十八年十一月九日の三井鉱山大爆発があります。

はられたのにえたる思いで抗議行動やすり込みをした日々。労働省交渉やハンスト、中央行動、坑底すり込み、またふるえ返り、夫々息子の生命を守り生活を向上させるため、そのささえとなり、自ら主婦会運動をつづけてきました。結成時の苦闘や三井闘争での主婦会活動、なかでも、とうてい忘れられないことなから、今日COO裁判闘争へと運動のこととして、三井鉱山の生産第一主義、保安サボによって引き起こされ、四百五十八人の仲間を殺し、八百三十余人の命を傷つけた昭和三十八年十一月九日の三井鉱山大爆発があります。

はられたのにえたる思いで抗議行動やすり込みをした日々。労働省交渉やハンスト、中央行動、坑底すり込み、またふるえ返り、夫々息子の生命を守り生活を向上させるため、そのささえとなり、自ら主婦会運動をつづけてきました。結成時の苦闘や三井闘争での主婦会活動、なかでも、とうてい忘れられないことなから、今日COO裁判闘争へと運動のこととして、三井鉱山の生産第一主義、保安サボによって引き起こされ、四百五十八人の仲間を殺し、八百三十余人の命を傷つけた昭和三十八年十一月九日の三井鉱山大爆発があります。



写真は、野添社宅の雨あがり後の風物詩。季節さえ夏だつたら、社宅住いのそこかしこから、蛙の鳴き声さえ聞こえそう。大切な働き手たちの住む環境を、こんな姿のまま放つておく奴は誰か？

乾燥肥料

そのつくり方？

盆栽や鉢花用の乾燥肥料をつくる方法です。冬期だとウジ虫が湧いたり、悪臭を放つたりすることなく手軽にできます。



す

(この項は、三井指導部の田上勇さんの担当です)

盆栽用には油粕一〇、骨粉二〇、鉢花用には油粕一〇、米ヌカ五、ワラ灰または骨粉三の割合でよく混ぜ合わせ、さらに等量の畑土をいれてダンゴがにぎれるくらいに水でねり合わせ、ポリ容器などにいれて発酵させるのです。

一週間ごとに一回ほど少量の水を加えてねりなおします。四週間もしたら適当な大きさに切り、よく乾燥させて貯蔵します。これは化学肥料と違って、多少なりとも害がなく、適当にいろんな成分を含み、効力を長くもち続けてくれるのでありがたいです。つまり、「窒素で育て、カリで締め、リン酸で花」というわけですね。

子供育てに思う

三井指導部 一主婦会員

先日大とでしゅけい。

学第一 他方、この頃の新聞には自殺のニュースが多く、中でも子供が、心の自暴自棄に目につきます。友達一人つくる事のできない人間は、もともと幸福ではないので、未来のことが一つだけわかっていて、死にたいと願っていることがあります。それは死です。そのほかのいっさいは、家で、子供達とよく夜遅くまで話し込む事がありますが、めいてくることです。

主婦会の皆さん、姿見欄へご投稿を。いろんな思いを消さないで書きとめ、そして皆で交流し合い、がんばりましょう。はるのなかにもあるもやもやを、すなおに出し合つてこそはじめて人間連帯が生まれ、労働者として団結することもできるのですから。

—編集部

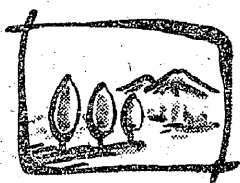
短歌

年の瀬

三井指導部

町佳郎

追憶のかけらさへなきに母の姿何れもぞる窓の外見つひざ交え語る人なきわれの歌ふと淋しめり寒夜にひとり庭隅の裸木の間に気負うこと咲きし山茶花の朱の彩父母の眠る新墓その後行かずタベの木枯らし吹きつあらん腰痛みで院に年越すわが友に慰めごとといひて帰る来痛む腰かばいつ洗う硝子窓年の瀬追憶の縁先に妻の貧しくも来向う年の用意にとおせちの品々買い来ぬ妻の餅つきとう文明の力おもしろみあがりしうちに子らははしゃげる数枚のうらむ教養のほとけ花路にききあう店員い来ぬ妻の腰もみいるわれのそがより肩もみくる幼童の温み離(さか)り住むうから恋しも師走夜を手紙したためぬ今年最後の年の瀬もおし迫れば書く年賀状量多きにとまといつ妻と



肥料の成分表

肥料名	窒素分	リン酸分	カリ分
硫酸安	20.50	—	—
石灰窒素	13.55	—	—
過リン酸石灰	—	15.00	—
油粕	5.05	2.00	1.30
骨粉	3.80	23.27	0.20
魚粕	8.00	6.00	—
米糞	2.08	3.78	1.40
鶏糞	3.99	2.77	1.22
草木灰	—	3.00	8.10